

公立佐賀中央病院
周辺開発どうするの？

公立佐賀中央病院周辺の開発
の状況について

千北 公立佐賀中央病院への交通手段に問題はないか。

答弁 予約型の乗合バス「チョイソコたく」の利用を考えています。また、佐賀唐津線の路線バスも乗り入れるようになっています。

千北 病院周辺の民間における土地開発状況は。

答弁 一部において、民間開発が行われている状況ですが、くわしい内容については把握をしていません。



千北 政利 議員

千北 医療関連事業者に、市として補助の考えはないか。

答弁 開院することにより、今後、周辺に民間関連施設が立地されることが想定されます。市として、医療関連にかかわらず、民間による企業誘致について、雇用や地域活性化につながるものとして、立地のあっせんなど、積極的に行っていきたいと考えています。

千北 病院開院による周辺開発が、人口増加のまたとないチャンス、住宅開発などの計画は。

答弁 市として直接開発を行う計画はありません。令和5年度から定住政策の一環として、民間事業者が宅地造成支援補助制度を設けていますので、こういった制度を活用していただいて、新たな住宅団地を民間の事業者に行っていただけるよう支援していきたい。

大丈夫？多久の観光と市政

観光について

廣橋 多久市の観光客の総数は。

答弁 令和5年は45万人です。

廣橋 観光のPRにインフルエンサーなどを使ってみては。

答弁 前向きに検討していきます。

廣橋 多久聖廟の周辺をもっとブラッシュアップするべきでは。

答弁 歴史や文化や自然などが実感出来る体験型観光メニューを充実させていきます。

廣橋 旅行の要素は見る、食べる、遊ぶ、買うと言われるが、多久聖廟周辺の観光は、その要素があまりにも少な過ぎると思うが。

答弁 一般社団法人多久市観光協会や事業者などと連携しながら、充実するよう努めていきます。

廣橋 多久には53篇から成る孔門師弟成績図絵という彩色で孔子の一生を描いた本当に見事な絵があるが、これを陶板にして解説をつければ、すばらしい観光資源になるが。



廣橋 時則 議員

市長の28年間の市政運営について

廣橋 今回の官製談合で職員が逮捕された。28年間というあまりに長い在任の結果、市政の緩みや他市町の首長に比べ著しく多い東京出張など、職員への任せつきりという管理不足の結果とも言えると思うが。

答弁 緩みなくやっていくということを私自身肝に銘じています。



▲「孔門師弟成績図絵」
多久市郷土資料館所蔵（柴藤行男氏寄贈）

多久市立病院の活用は
どうなるの？

多久市立病院跡地・跡施設について

古賀 市立病院跡地・跡施設の活用についての進捗状況は。

答弁 既存の施設を生かしての利活用や解体などの手法について検討を進めており、民間事業者からの意見や提案も参考にする必要があります。サウンディング型市場調査を実施しています。

古賀 提案の内容は。

答弁 県内農産物品などの加工、販売、飲食ができる施設、健康食材などの原材料となる植物の栽培や加工、販売を行う施設などの提案がありました。しかしながら、今回はいずれも実施主体は市であり提案者は運営に参画するという事です。また、施設整備ならびに整備後の維持管理などについても市の負担が発生する提案でした。

古賀 跡地の活用として、道の駅構想を考えては。

答弁 道の駅構想については、一つの案として検討を行っており、地域振興や財政負担などを考慮しながら



古賀 公彦 議員

ら、市として今後もさまざまな案を検討していきたい。

買い物支援について

古賀 宅配サービスを商工会などで業務システム化して補助はできないか。

答弁 佐賀県地域商業活性化支援事業の買物弱者対策事業の活用について研究をしていきたい。



県内初！保育料無償化

0歳児から2歳児までの保育料無償化について

坂口 第2子以降の保育料が無償化されるがなぜ第2子以降なのか。

答弁 将来展望人口の達成にむけた取り組みとして、合計特殊出生率を1.52から2.07に向上し、また子育て費用の軽減を望む声に応え、安心して子どもを産み育てる環境を整えるためです。

坂口 多久市に他の市町から通われている園児の人数は。

答弁 796人の園児の内217人。0歳から2歳の市外から通っている園児は99人です。

坂口 無償化の対象は多久市在住となっているが、他の市町から子どもを預けている人へ定住を促す支援と考えているのか。

答弁 多久市を移住先として優先的に選択して頂き、定住支援に繋がると考えます。

坂口 第2子が生まれた頃にはすでに他の所に家を建ててしまっている。多久市内に家を建て子育てをする



坂口 絹代 議員

る若い世代が増えるよう第1子からの保育料無償化の考えは。

答弁 市の負担が増えます。しかし、子育て世帯の支援と定住につながって行くと考えられるので研究を重ねていきます。

坂口 多久市を持続可能な市とするためにも人口減少、少子化対策は何よりも優先するものと考えます。

